

これまでのメンタリング実績

オードリー・タン 氏（令和6年11月27日）

<略歴>

- ・16歳でIT企業を設立
- ・元台湾デジタル発展相（台湾史上最年少で任命）
- ・デジタル技術を活用した社会改革に取り組む



<メンタリングの概要>

台湾でのAI活用の成功事例を交えながら、スタートアップに期待される「変革の牽引者」としての役割について語った。

「AIはただのツールではなく、共感と対話を生み出す鍵」という考えのもと、台湾政府時代のライドシェア導入や詐欺対策の成功事例について解説した。

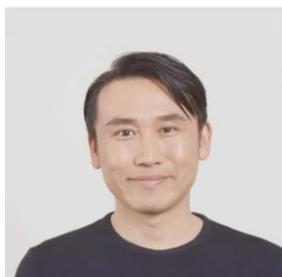
<メッセージ>

これからは「文化的な価値や地域の要望をAIに実装させることが求められる」と考えます。私たちの暮らしや社会、都市の姿を大きく変える可能性がある技術や発想を持つスタートアップの挑戦に期待しています。

小澤 隆生 氏（令和7年2月20日）

<略歴>

- ・複数の企業を成功に導いた連続起業家
- ・2024年1月ブーストキャピタルを設立し、代表取締役就任



<メンタリングの概要>

起業を野球に例えながら、連続起業家にとって重要である経験について自身の起業体験や起業家に求められるマインドを語った。

「人の生物学的かつ根本的なニーズや本質的な欲求を外さないことが重要」という考えのもと、着眼・探求・やり抜く力の大切さについて解説した。

<メッセージ>

起業家にとって常にアドバイスをもらえるメンターの存在も大事です。私自身も先輩経営者からの教を元にノウハウを確立してきました。恐れずにやってみることが大切であり、起業は誰でもできるので、挑戦し続けることが成功への道であると考えます。